

# カメラ ま ち の 出 来 事 あらかると

広報たかはし

広報たかはし

## 手づくり風車で発電

(1月25日 有漢東小学校)

「新エネルギー教室」(資源エネルギー庁、高梁市など主催)が、有漢東小学校と巨瀬小学校で開かれました。有漢東小学校では、3～6年生31人が参加。若手漫才コンビ「ダムダムダン」が、太陽光発電や風力発電などの環境に優しい「新エネルギー」の必要性を漫才仕立てで授業し、児童たちは時折大笑いしながら聞き入っていました。

また、ワークショップでは、手づくりのプラスチック製風車で発電してミニカーを走らせました。



## 成人おめでとうございます

(1月13日 総合文化会館)

「平成20年成人祝賀式」が開かれ、出席した新成人341人が大人の責任と自覚を誓いました。また、新成人代表の実行委員会が企画した記念行事「高梁発! ビンゴでチャンス! クイズでゲット!」では、出題される問題を通して市町合併で広がったふるさとの知識を深めました。

新成人たちは、久しぶりに会った友人と記念撮影するなど、思い出に残るひと時を過ごしていました。

今年20歳を迎える市内住民登録者は457人です。

## 倍賞千恵子さんが講演

(2月3日 総合文化会館)

映画「男はつらいよ」のさくら役として高梁にもなじみが深く、女優・歌手として活躍されている倍賞千恵子さんを迎えて、「第6回文化講演会」が開かれました。

倍賞さんは「歌うこと、演じること、そして生きること」と題して、アカペラも交えながら、芸能界に入ったきっかけや仕事を通して感じたことなどを話されました。



## 自分たちの思いを市へ

(2月4日 市役所)

高梁小学校4年生(73人)が、「住み良い町づくり」をテーマに学習してきた成果を市に伝えようと、代表8人が市役所を訪れ秋岡市長に手紙を手渡しました。手紙には、「文化財や自然を大切に、子どもやお年寄り、障害者らに優しい町に」という思いがこめられていました。

秋岡市長は「誰でもが住みやすい町にします。みんなも、ふるさとをいつまでも愛して」と応えました。



## 力をあわせて!

(1月27日 富家小学校体育館)

「備中地域綱引き・縄跳び大会」(備中公民館主催)が行われ、備中地域の子どもたちや愛好家などが出場しました。選手らは周りの応援を受け、仲間と力を合わせて熱戦を展開。会場には声援と熱気があふれていました。

競技終了後には、「キンボール」(直径122<sup>mm</sup>・重さ1<sup>kg</sup>)のボールを使用してサーブやレシーブを繰り返すニュースポーツ)を全員で行い、参加者相互の交流を深めました。

## 子どもたちの華麗な舞

(1月20日 成羽文化センター・神楽館)

「子供神楽発表会」(成羽備中神楽振興会主催)が行われ、成羽地域の保育園児や小中学生、神楽育成会の子どもたち約40人が出演。猿田彦之舞や大蛇退治などの演目を披露しました。

会場を訪れた家族や神楽ファンらは、子どもたちの愛らしくも迫力ある舞に見入っていました。



## 学生が間伐作業に挑戦

(2月5日 有漢町有漢 大谷地区)

「環境保全型森林ボランティア」(有漢地域まちづくり協議会主催)が行われ、県内外から大学生ら23人が参加し、荒廃した人工林の間伐作業を行いました。

5・6人のグループで、あらかじめ伐採する木にロープをくくり付けておき、一人がチェーンソーで根元に切り込みを入れた後、残りのメンバーがロープを引っ張って倒す作業。

このボランティアは、林業従事者の人手不足や高齢化を背景に平成17年から続いています。

## 100歳おめでとうございます

(2月1日 自宅<松原町松岡>)

100歳を迎えられた森貞治さんを市長らが訪問し、記念品や花束を贈って長寿を祝いました。長寿の秘訣は「特には何も無いが、一日一日を大切に過ごすこと」だそうです。

市内で100歳以上の人は2月1日現在で27人(男性6人、女性21人)。



## 今月の 表紙

### 雪化粧の夫婦岩

すっぱり雪に包まれた夫婦岩(成羽町布寄)。標高400<sup>m</sup>の石灰岩上にそびえ立っています。撮影した1月29日は、強い冷気が流れ込んだ影響で、市内はこの冬一番の積雪となりました。眼下には成羽川の清流を眺めることができる絶好の場所ですが、この日は霧が立ち込め、幻想的なモノトーンの風景に包まれていました。